



三井住友海上グループ

2003年度 第2回

インフォメーション
ミーティング

2003年12月2日

三井住友海上火災保険株式会社

成長力No.1指標

【達成状況】

国内損保の

正味収保増収率 1位

単体増収率2.5%

大手損保で 1位

国内外損保の

連結正味収保 2位

連結正味収保 6,573億円(+5.0%)

海外の高増収(+45.2%)により2位

損保系生保の

保有契約高 2位

きらめき生命

保有契約高 5兆3,900億円

2位との差を1,200億円縮めた

(2003年3月末5,500億円 9月末4,300億円)

収益力No.1指標**【達成状況】**

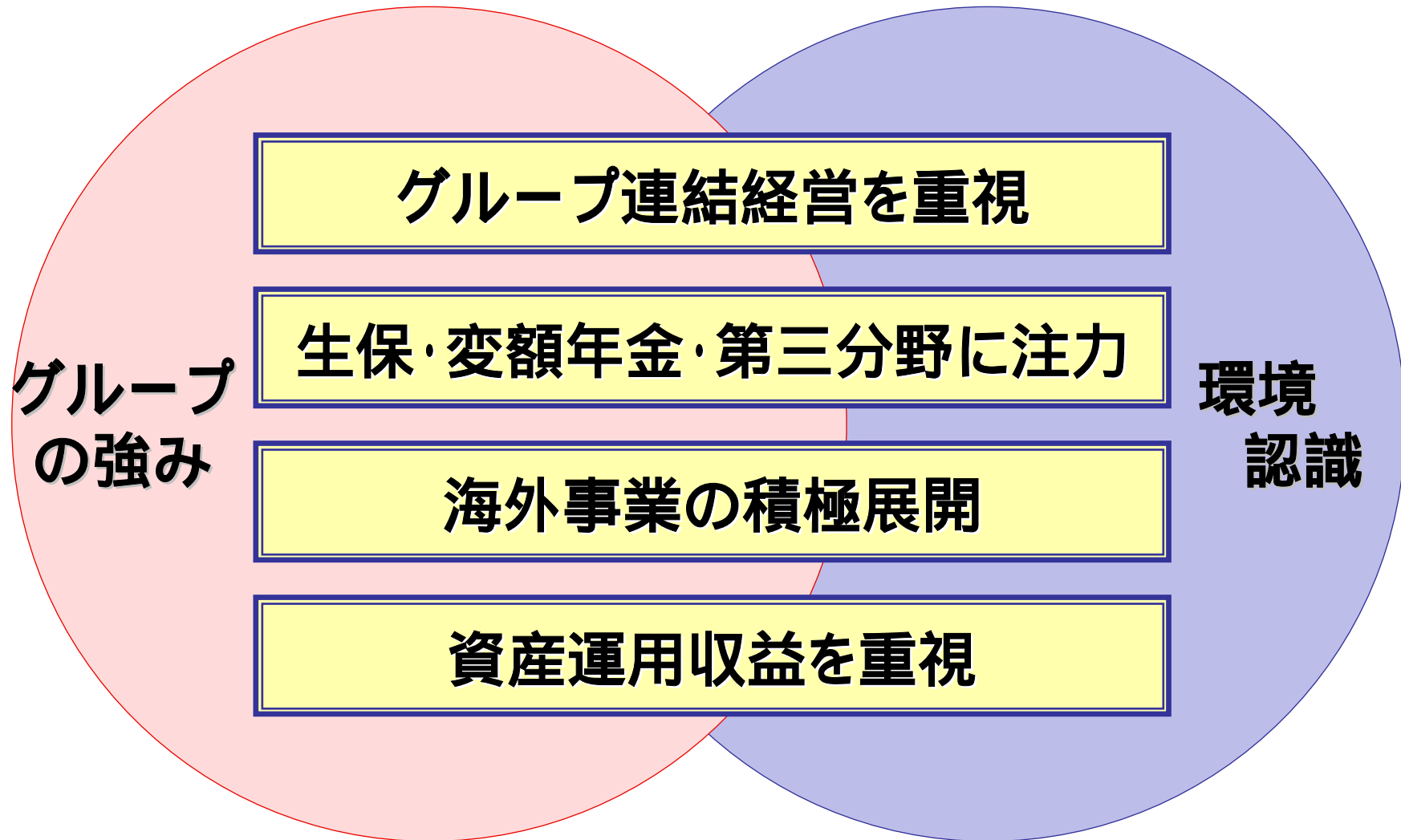
コンバインドレシオ 1位
(年初計画94.0%)

コンバインドレシオ 89.2%
大手損保で 1位
計画対比で順調だが、
一層の努力が必要

資産運用利回り 1位

インカム利回り 2.24%
V9に向けて順調

三井住友海上グループ 経営戦略の特徴



三井住友海上グループの強み

三井グループ
住友グループ

圧倒的な取引基盤

主要27業種の上位30社 - 70%が取引先

三井住友のブランド力

強固な財務基盤

自己資本1.2兆円の厚み

業界随一の資産運用力

海外事業基盤

36ヶ国・56カ所の営業網

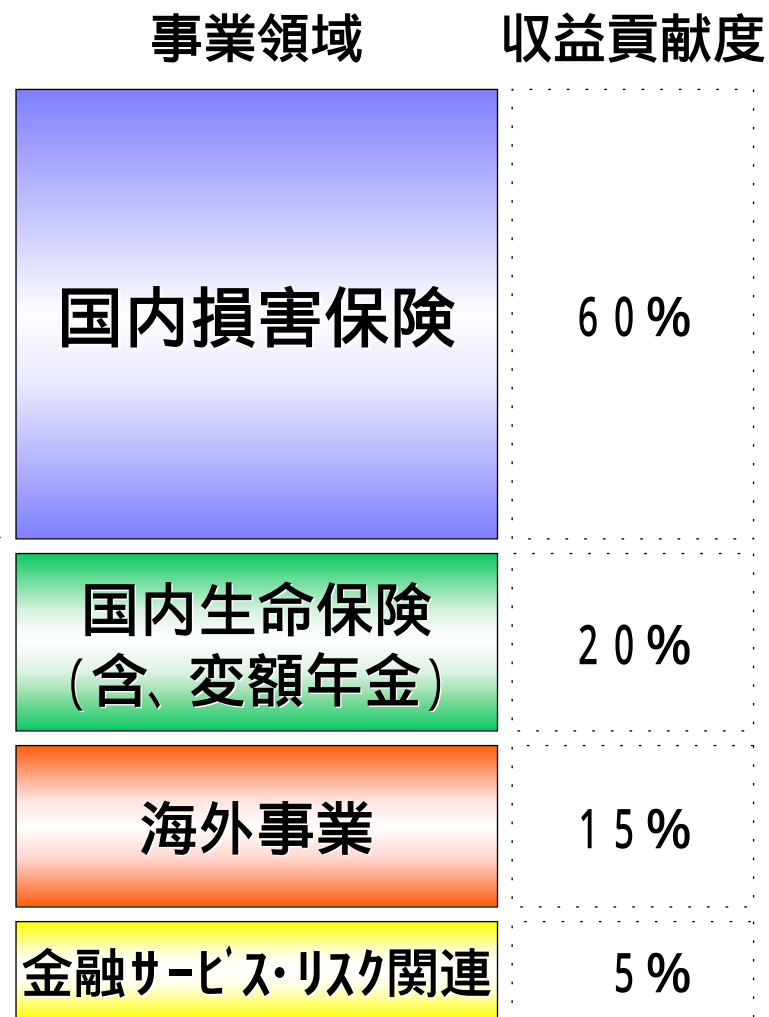
アジア, ロイズに特段の強み

目指すグループ事業ポートフォリオ

< 2003年度計画 >



< 2010年度のグループ像 >



国内事業(1) トップライン対策

自動車保険 **MOST** モスト 2004年1月改定

➤ 差別化商品を投入

- ・年齢条件「35才以上」の新設（「30才以上」 年齢区分の拡大）
- ・新車割引の適用範囲拡大（車両 対人・対物・傷害にも適用）
- ・ゴールド免許割引率の拡大（10% 最大12%割引へ）
- ・弁護士費用の補償範囲を拡大（交通事故 日常生活上の偶然な事故）

国内事業(2) トップライン対策

新商品

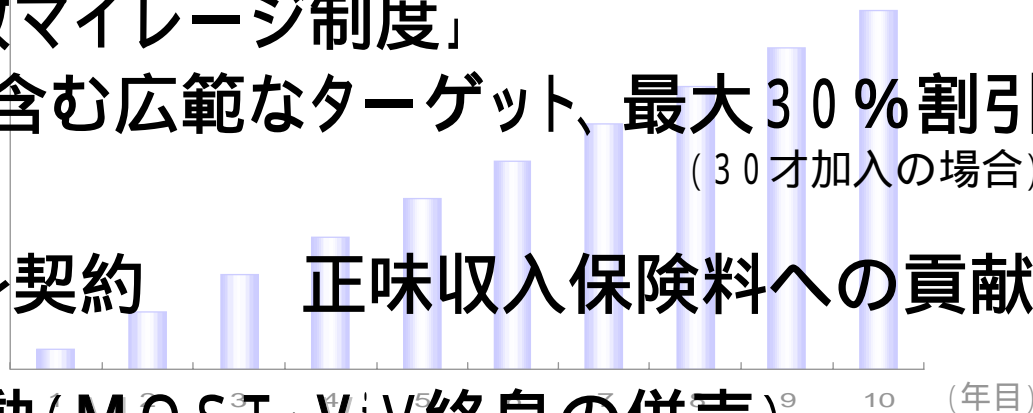
viv 終身
ライヴ

2003年11月新発売

(終身型傷害疾病保険)

第三分野における大型戦略商品

- ▶ 独自の「無事故マイレージ制度」
若年層を含む広範なターゲット、最大30%割引
(30才加入の場合)
- ▶ 生涯補償・終身契約 正味収入保険料への貢献度大
- ▶ アタックMV運動(MOST・V!V終身の併売)



国内事業(3) トップライン対策

三井住友金融グループの提携戦略

販売チャネル提携は高出力の源

三井生命

三井ライフ損保の契約移転完了

収保120億円

大型リテール代理店の出力

実績対比増収率+4%

1万人の営業チャネル

住友生命

提携4年目、着実に拡大

2003年度上期実績

45億円(+5.6%)

企業マーケット共同開拓

2003年度上期実績

自動車フリート89件成約

三井住友銀行

最大・最強の窓販網

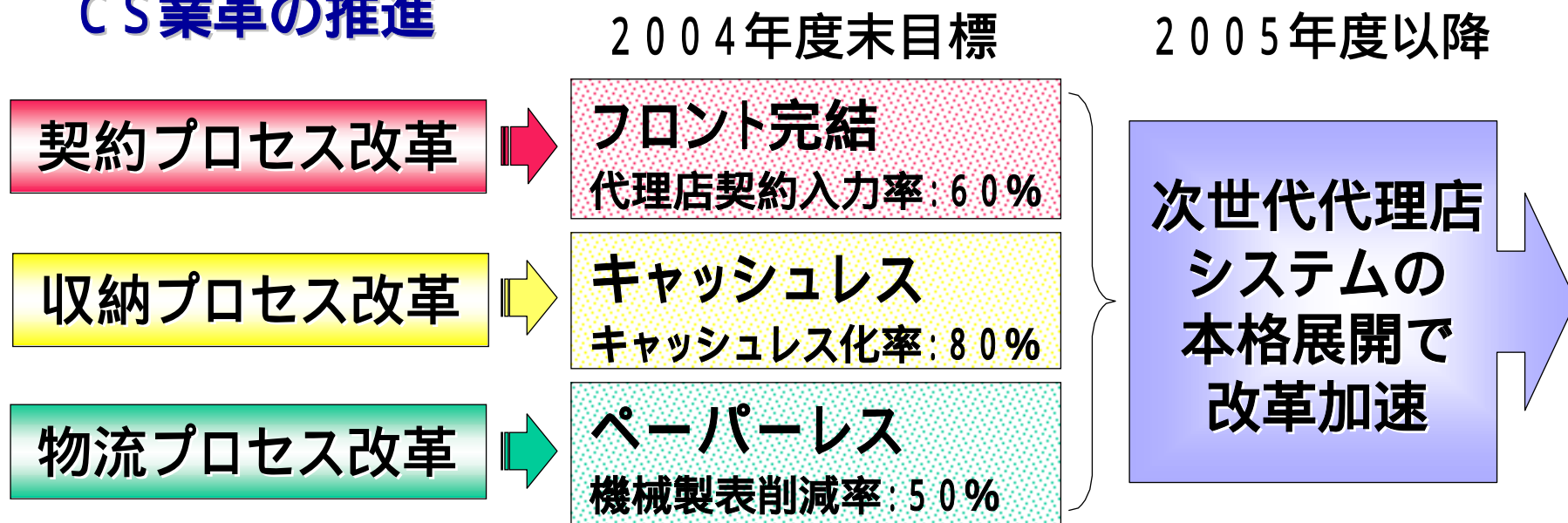
住宅ローン長期火災

富裕層お客さまの宝庫

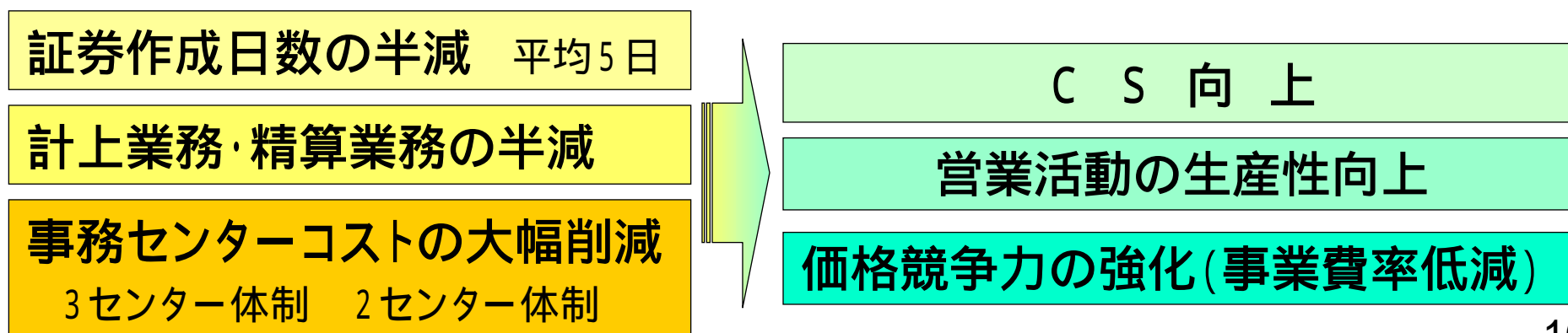
変額個人年金保険

国内事業(4) コスト削減・生産性向上対策

CS業革の推進



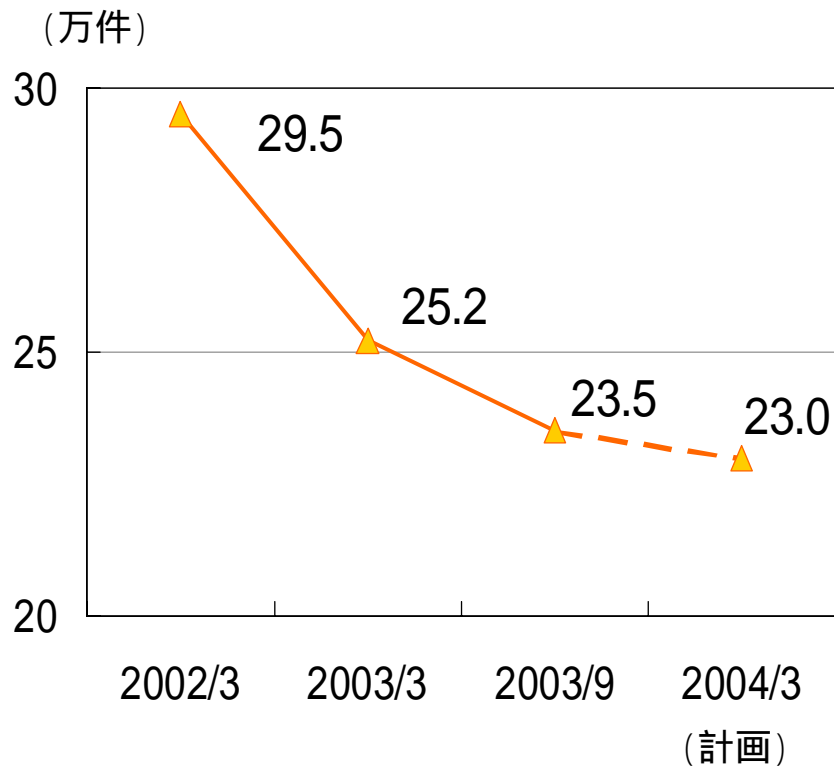
CS業革効果



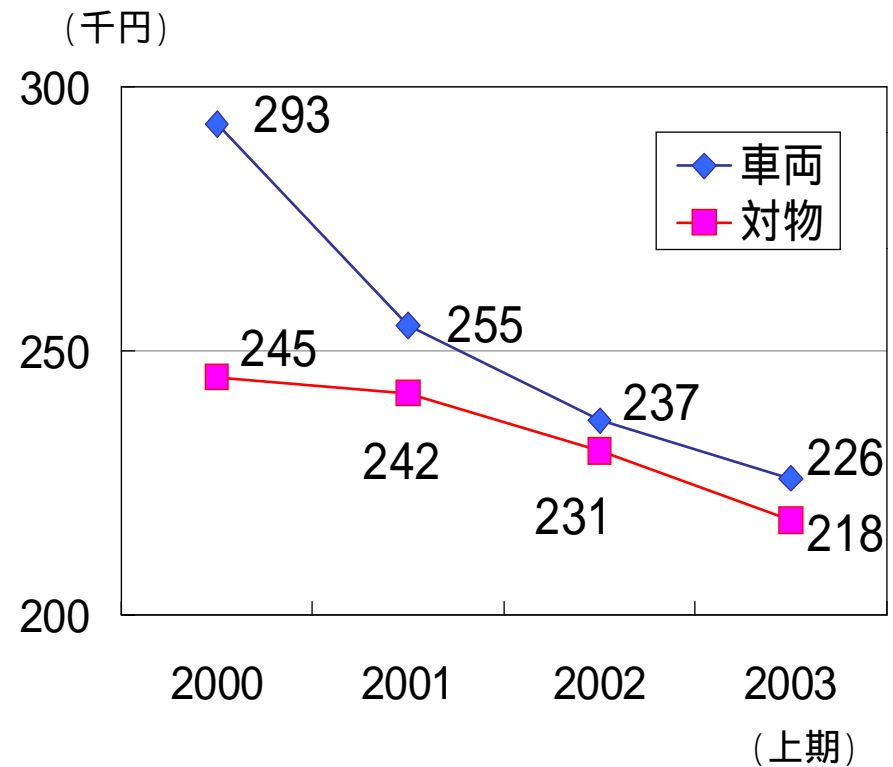
国内事業(5) ロス改善取組

自動車損害サービスシステム *WITH* ...支払の迅速化・適正化

支払促進取組(仕掛かり中案件数)



保険金支払単価の推移



火新損害サービス新システム *HEARTS* ...2003年11月稼働

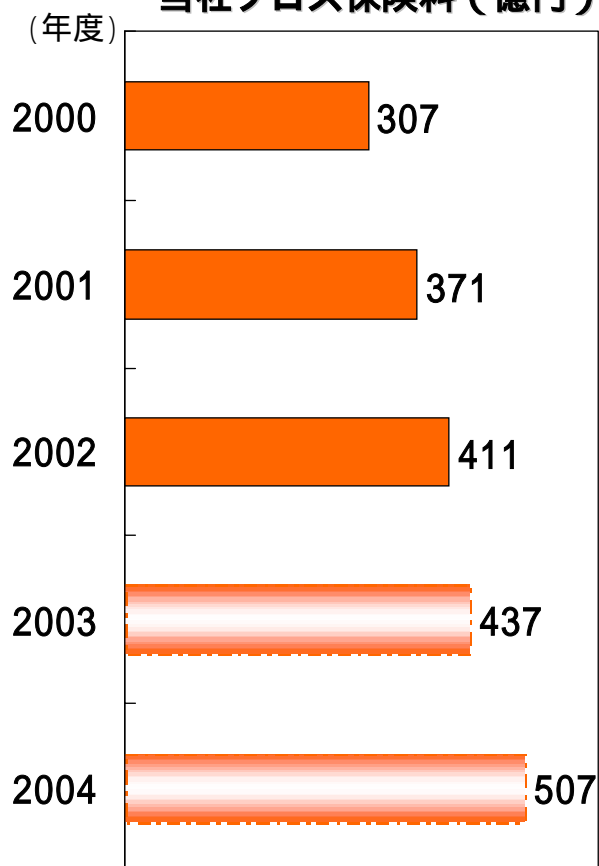
海外事業(1) 最注力市場アジア



アジア

高い成長率

当社グロス保険料(億円)



高い収益性

▶ コンバインドレシオ

2002年度実績 88.8%

2003年度見込 85.5%

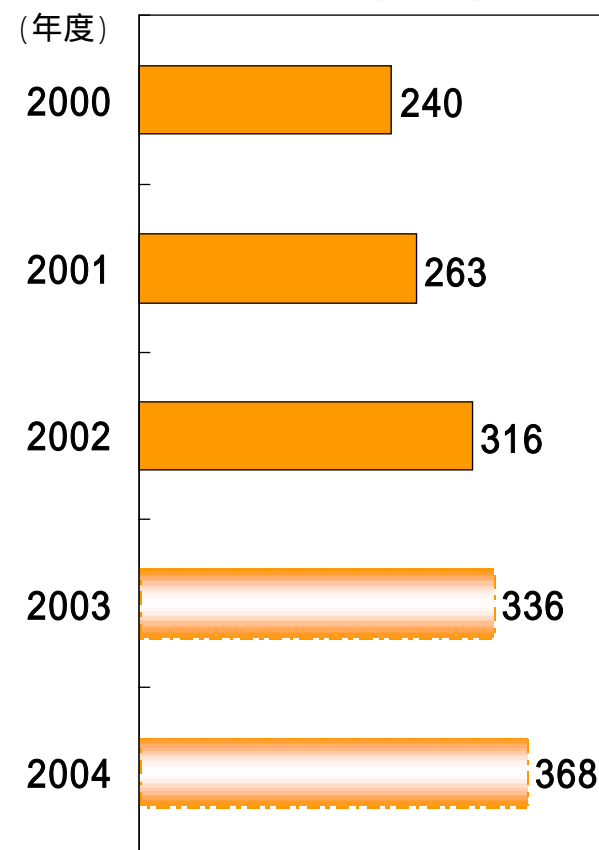
▶ ROE

2002年度実績 13.3%

2003年度見込 13.4%

資産も着実に増加

純資産(億円)



海外事業(2) 最注力市場アジア



2本部体制で市場密着の戦略推進

アジア第一本部(東アジア地域担当)

アジア第二本部(東南アジア地域担当)

- 中国・インド : 急成長市場でビジネス拡大
中国多拠点化、インドJV設立
- アセアン諸国 : 良質ローカル契約の拡大
各市場でランクアップを目指す
- M & A : 生保事業への進出
損保事業の拡大

海外事業(3) 米州・欧州・再保険子会社

米州元受



米営業の収支改善が顕著

厳正なアンダーライティング、レートアップ

(億円)

| | 2002年度 実績 | 2003年度 上期実績 | 2003年度 通期見込 |
|-----------|-----------|-------------|-------------|
| 正味保険料 | 215 | 183 | 302 |
| コンバインドレシオ | 134% | 100% | 110% |
| 税引後利益 | 38 | 1 | 2 |

欧州元受



順調なロイズ事業

2003年度計画 正味収保 465億円(増収率63%)

再保険子会社



市場認知度の向上、高格付け

ビジネスチャンス拡大

2003年度計画 正味収保 53億円(増収率40%)

正味保有限度額引き上げ

資本の有効活用、収益拡大

生命保険(1) 三井住友海上きらめき生命(保障重視型商品)

販売網強化

3本柱で推進

- 生保プレイングリーダー(PL) ...親会社営業拠点の
生保専任者45名を70名に増強
- 直轄支社制度 ...東京・大阪に設置
- ロイヤルメンバー ...中核代理店867店を認定

特徴ある基幹商品

MS終身(利率変動型終身保険)

2003年2月新発売 9月末保有契約高 730億円

収入保障保険

9月末保有契約高 8,580億円

(前年同期比+20%)

生命保険(2) きらめき生命のエンベディッド・バリュー

EV値

| | (億円) | |
|--------|---------|---------|
| | 2001年度末 | 2002年度末 |
| 純資産価値 | 261 | 272 |
| 保有契約価値 | 185 | 221 |
| 合計 | 446 | 493 |
| 増加率 | - | 10.5% |

開業時資本金 200億円 (1996年10月)

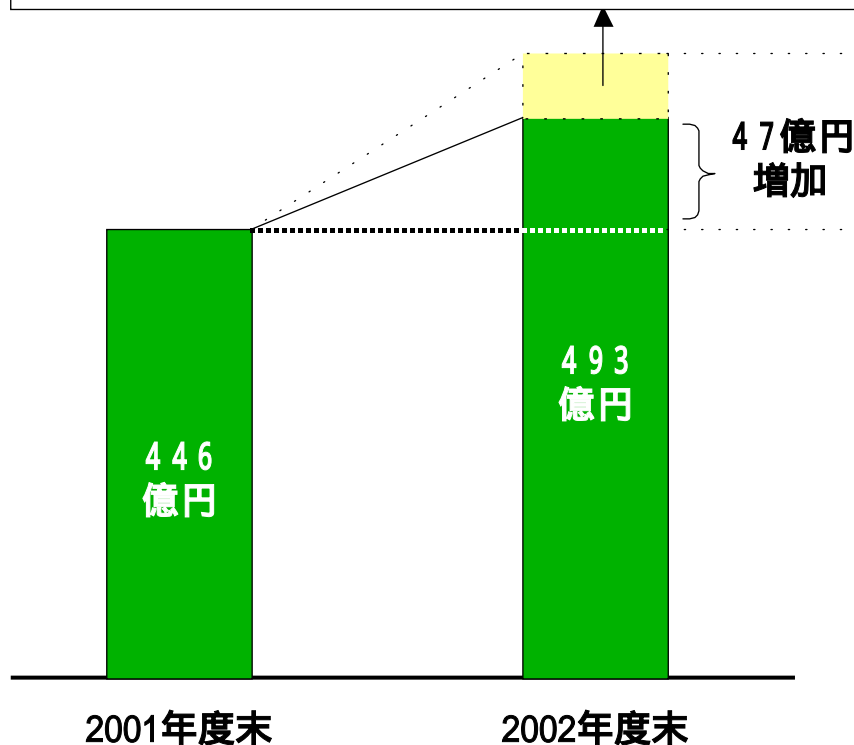
その後増資 100億円 (1998年4月)



2002年度末 EV 493億円

年平均 8.6%
の価値増加

金利の変動要因 (金利の低下と割引率の変更)による減少額: 28億円



実質的な増加額: 75億円 (増加率16.8%)

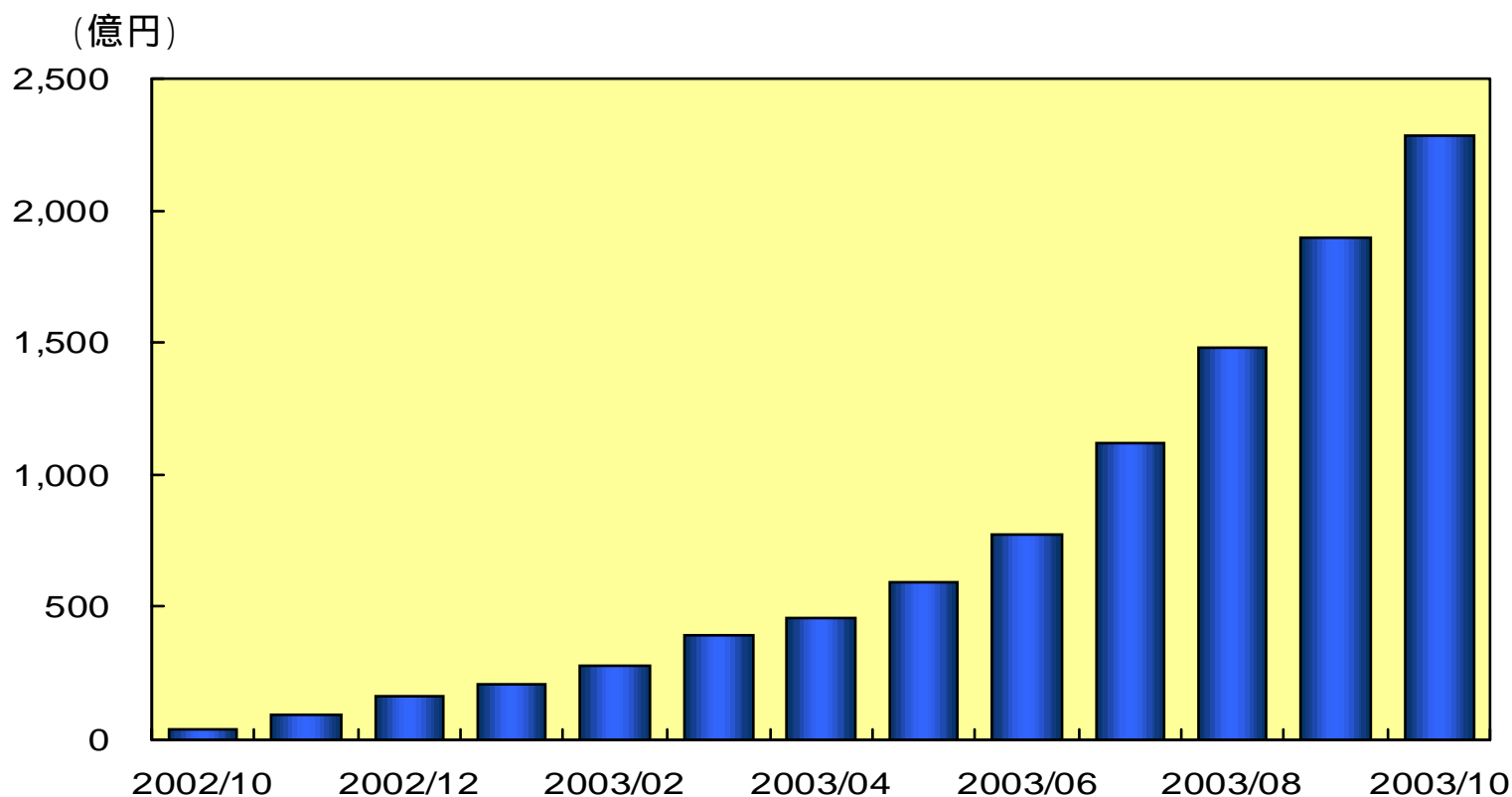
< 2002年度の増減内訳 > (億円)

| 要因 | 増減額 |
|--------------------|-----|
| 前期EVからの期待収益 | +28 |
| 新契約 | +37 |
| 想定と実績の差等 | +10 |
| 小計 | +75 |
| 割引率の変更(7% 6%) | +20 |
| 金利の低下(1.40% 1.13%) | 48 |
| 合計 | +47 |

生命保険(3) 三井住友海上シティ生命(資産運用型商品)

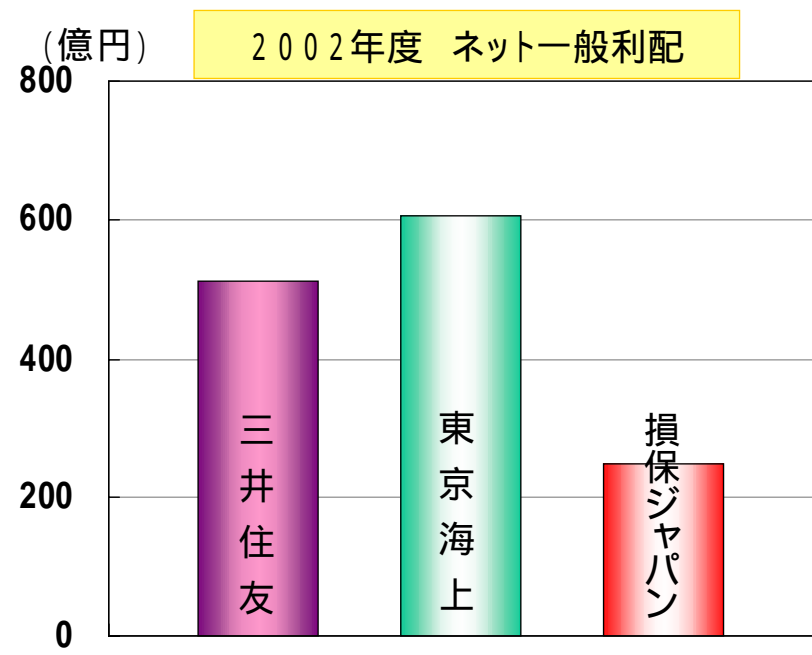
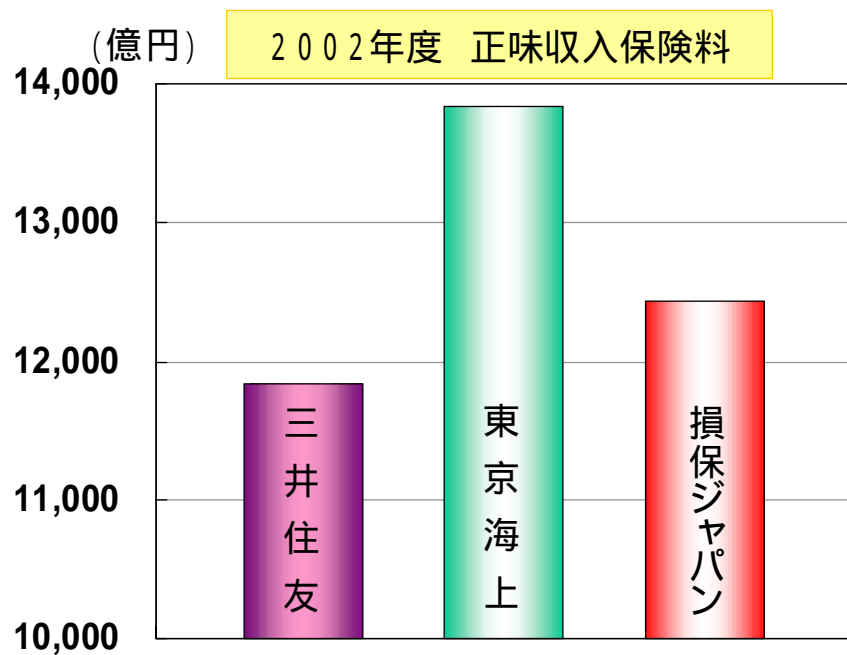
商品:変額個人年金保険に特化
販売網:銀行・証券会社による窓販

「年金原資保証型商品」投入により保有契約高が急伸



資産運用戦略(1) コア運用収益を重視

運用収益のコアであるネット一般利配は、
環境変化への対応を支える収益基盤
当社は高出力のポートフォリオによってネット一般利配が厚い



| 2002年度 | 正味収入保険料 | | ネット一般利配 | |
|--------|---------|-------|---------|-------|
| 三井住友海上 | 11,845 | (100) | 513 | (100) |
| 東京海上 | 13,836 | (117) | 605 | (118) |
| 損保ジャパン | 12,435 | (105) | 248 | (48) |

注: 正味収保は、自動車賠償責任保険の政府出再廃止影響を除くベース。
()内は当社を100とした場合の数値。

資産運用戦略(2) 当社資産運用の強み

▶ インカム利回りの持続的優位性

運用資産利回り(インカム利回り)の格差推移

| (年度) | 2000 | 2001 | 2002 |
|--------|---------------|---------------|---------------|
| 三井住友海上 | 2.58% | 2.54% | 2.37% |
| 東京海上 | 0.31% (2.27%) | 0.30% (2.24%) | 0.59% (1.78%) |
| 損保ジャパン | 0.35% (2.23%) | 0.50% (2.04%) | 0.47% (1.90%) |

利息及び配当金収入の推移

(億円)

| (年度) | 2000 | 2001 | 2002 |
|--------|-------|-------|---------------|
| 三井住友海上 | 1,326 | 1,292 | 1,168 (100.0) |
| 東京海上 | 1,345 | 1,362 | 1,162 (99.5) |
| 損保ジャパン | 932 | 816 | 723 (62.0) |

注:()内は当社を100とした場合の数値

▶ 特に高い主要3資産[公社債・外国証券・貸付金]の出力

2002年度資産形態別インカム利回り

| (年度) | 公社債 | 外国証券 | 貸付金 | 株式 | 不動産 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 三井住友海上 | 2.02% | 4.55% | 2.30% | 1.85% | 3.10% |
| 東京海上 | 1.45% | 2.56% | 2.15% | 2.34% | 4.68% |
| 損保ジャパン | 1.75% | 3.07% | 2.17% | 1.63% | 2.85% |

(出典:各社ディスクロージャー誌、決算短信)

資産運用戦略(3) 当社資産運用の強み

▶ 堅実な信用リスク管理

債券 ... 格付け「A」格以上 97%

貸付金 ... リスク管理債権比率 4.2% (2003年9月末)

リスク管理債権残高の推移 (億円)

| (年度) | 2001 | 2002 | 2003 中間期 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 三井住友海上 | 339 (4.5) | 321 (4.5) | 308 (4.2) |
| 東京海上 | 472 (7.2) | 546 (8.4) | 540 (8.6) |
| 損保ジャパン | 317 (4.5) | 369 (6.0) | 355 (6.4) |

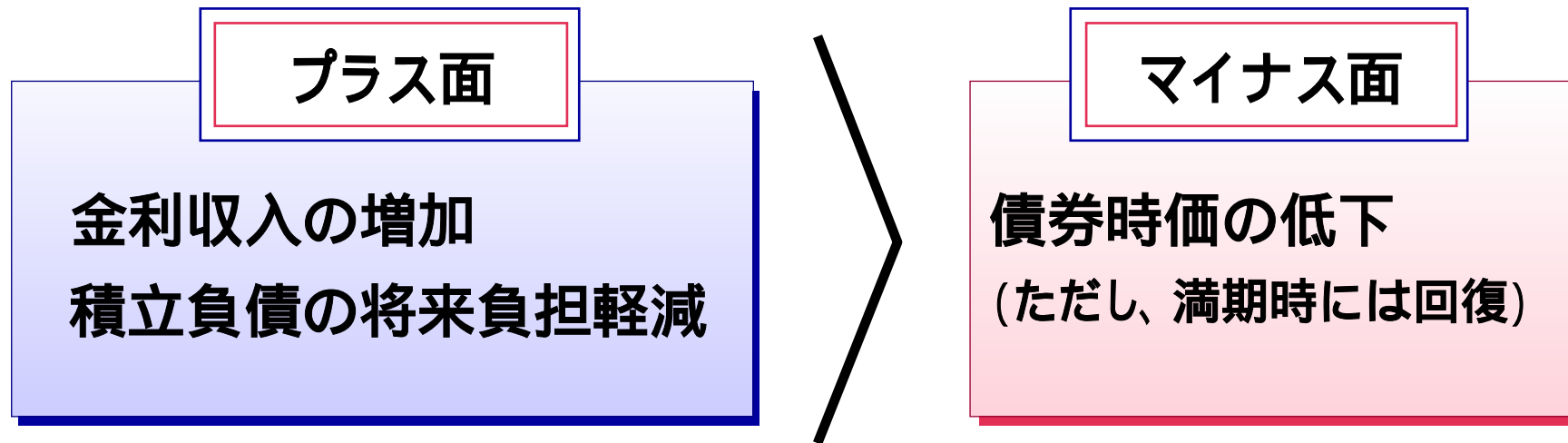
注:()内は貸付金に占める割合(%)。

▶ オルタナティブ投資

投資残高 2003年3月末 2003年9月末 2004年3月末(計画値)
 460億円 → 560億円 → 600億円

資産運用戦略(4) 金利上昇の影響

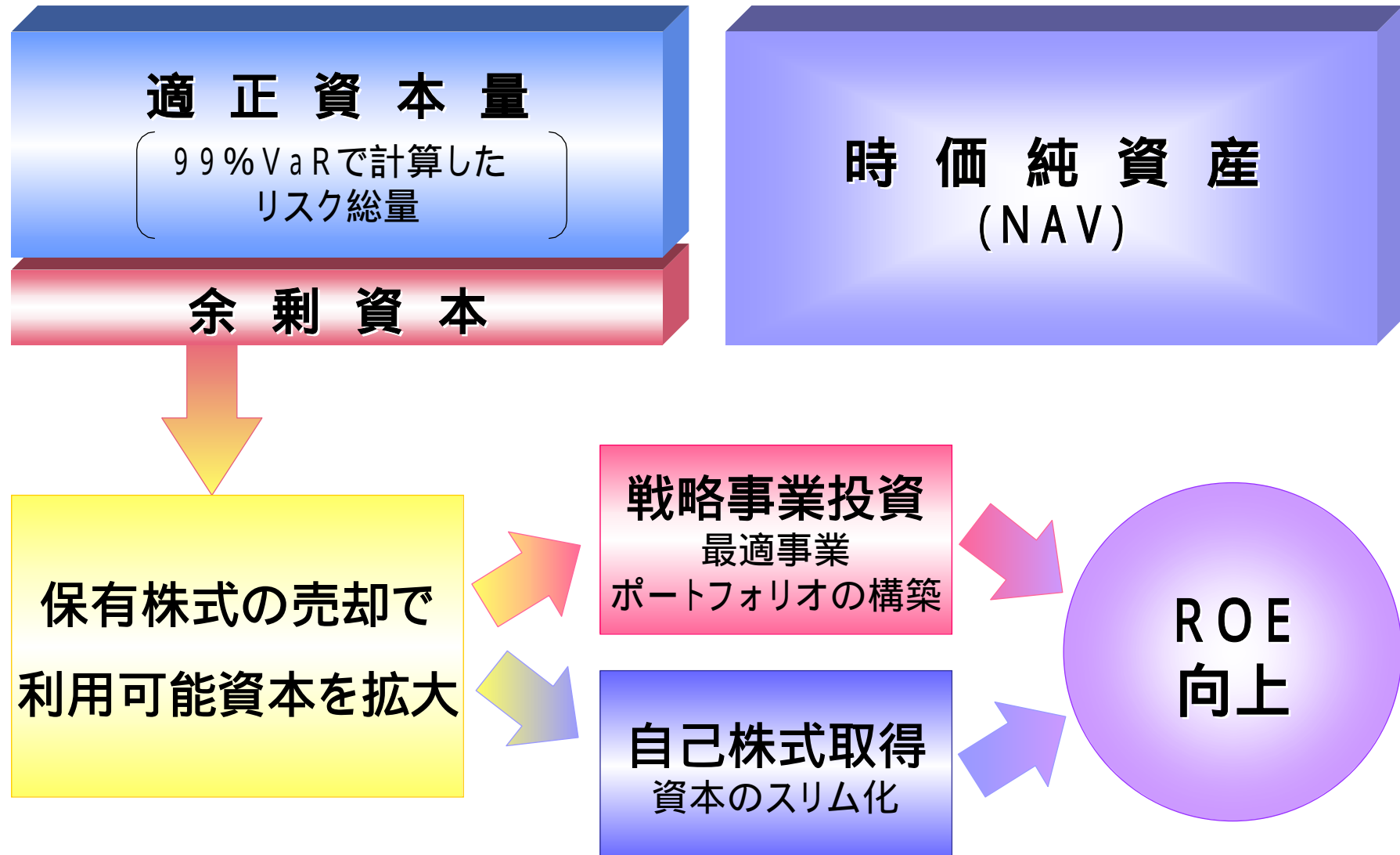
金利上昇は総体的に好影響



当社運用スタンスは不変

- ALM管理の徹底
- 円金利資産中心に買い持ち
- 個人ローンを段階的に積み上げ

資本政策(1) 資本政策の基本方針

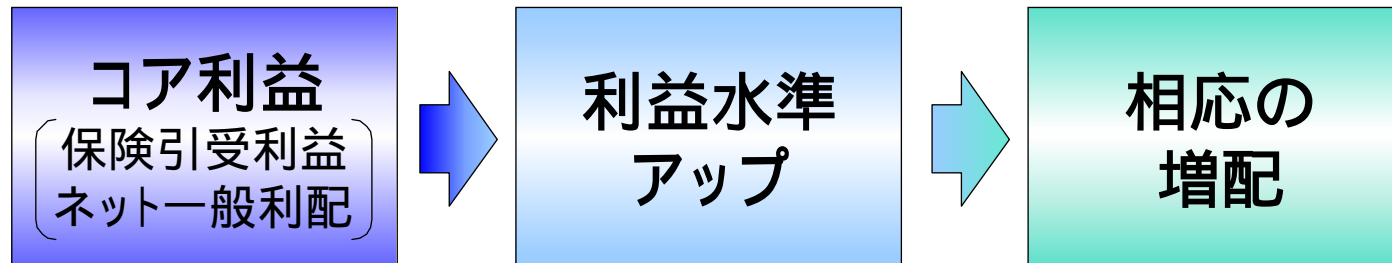


資本政策(2) 株主への利益還元

1

配当の基本方針

配当 = 期間コア利益の株主還元



2004年3月期末: 1株あたり1円の増配を予定

2

自己株式取得の基本方針

利用可能資本の一部を
自己株式購入を通じて株主還元

経営理念の実現に向けて CSR取組

持続的成長

企業価値向上

社会との相互発展

中期経営計画 MS WAVE

企業品質NO.1戦略

CSR委員会設置

CSRの精神

CSRの視点

三井住友海上株式への投資メリット

収益拡大に向けた事業展開とその確実性

- * 収益源の多様化、生保事業・海外事業の成長、強いグループ力
- * 2002年度連結当期利益328億円 2004年度計画570億円

業界リーダーとしてのポジションと信用力

- * 規模、経営効率・利益の両面で損保業界 2位
- * 強固な財務基盤、高い格付け(ムーディーズ Aa3、S & P AA -)

株主重視の経営姿勢

- * 株主価値向上 = 経営理念
(連結ROE重視、自己株式取得に積極的、配当の重視)
- * 経営の透明性 (ディスクロージャー、IR、USGAAP決算)

三井住友海上グループは

保険・金融サービス事業を通じて

世界に安心と安全をとどけ

豊かな社会作りに貢献します

最高の商品とサービスを提供し

お客さまの満足を実現します

永続的な業績向上を目指し

株主の信頼と期待に応えます

ご期待下さい。

2003年12月2日 三井住友海上火災保険株式会社

MS WAVE 経営目標数値

(単体目標)

| | 2000年度 (2社合算) | 2001年度 (2社合算) | 2002年度 実績 |
|-----------|------------------|------------------|--------------|
| 正味収入保険料 | 11,617億円 | 11,757億円 | 11,845億円 |
| 正味損害率 | 58.4% | 57.8% | 57.2% |
| 正味事業費率 | 37.3% | 36.4% | 35.3% |
| コンバインドレシオ | 95.7% | 94.2% | 92.5% |
| 一般利息配当金収入 | 543億円 | 580億円 | 514億円 |
| 当期利益 | 271億円 | 236億円 | 324億円 |
| R O E | 1.7% | 1.7% | 2.8% |

| 2003年度 年初業績予想 | 2003年度 修正業績予想 | 2004年度 計画 |
|------------------|------------------|--------------|
| 12,050億円 | 12,000億円 | 12,300億円 |
| 59.2% | 57.9% | 59.2% |
| 34.8% | 34.9% | 33.8% |
| 94.0% | 92.8% | 93.0% |
| 490億円 | 485億円 | 470億円 |
| 380億円 | 770億円 | 520億円 |
| 3.6% | 7.0% | 4.7% |

(連結目標)

| | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| 連結正味収入保険料 | 11,857億円 | 12,233億円 | 12,532億円 |
| 連結当期利益 | 299億円 | 190億円 | 328億円 |
| 連結 R O E | 1.9% | 1.4% | 2.8% |

| | | |
|----------|----------|----------|
| 12,860億円 | 12,950億円 | 13,170億円 |
| 410億円 | 810億円 | 570億円 |
| 3.8% | 7.3% | 5.1% |

(国内損保事業以外の利益)

| | | | |
|----------------|-----|------|------|
| 生命保険 (標準責前) | 3億円 | 5億円 | 11億円 |
| 海外事業 | 9億円 | 48億円 | 7億円 |
| 金融サービス事業 | 5億円 | 9億円 | 43億円 |
| リスク関連事業 | 1億円 | 1億円 | 1億円 |
| 合計 | 0億円 | 51億円 | 39億円 |

| | | |
|------|------|------|
| 5億円 | 6億円 | 20億円 |
| 17億円 | 44億円 | 66億円 |
| 4億円 | 20億円 | 10億円 |
| 1億円 | 1億円 | 1億円 |
| 19億円 | 71億円 | 97億円 |

* 「正味収入保険料」には、もどリッチファンド及び自賠償の政府出再廃止の影響は含まれておりません。

* 「国内損保事業以外の利益」の一部は、「単体目標」の当期利益にも含まれております。



三井住友海上

【予想および見通しに関する注意事項】

本資料に記載の内容のうち、歴史的事実でないものは、三井住友海上(以下、当社)の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想および見通しであり、現時点で把握可能な情報から得られた当社の判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな不確定要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果になり得ますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼし得る要素には、(1)事業領域を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸規制の変更、などを含みます。